

迎える大地震

迎え撃つ万全な心構え

一階が完全に壊滅したビル(宮城県沖地震) 仙台市震災対策本部提供

9月1日は防災の日

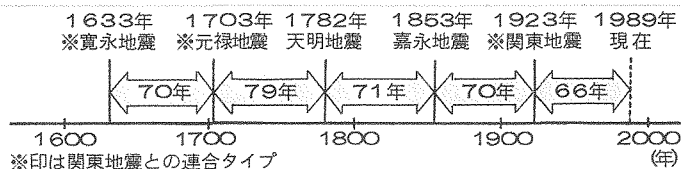
我が国は、昔から数多くの大地震に襲われ、大きな被害を受けています。特に、大正十一年の関東大地震では、およそ十万人の死者が出るなど、大きな被害が発生しました。九月一日は関東大地震が起きた日です。このため、関東大地震の反省から、九月一日を「防災の日」と決めています。私たちの住む平塚市も、いつ地震に襲われるかわかりません。「いざ」というときにあわてないために、もう一度みなさんのご家庭の地震対策を確認してください。

東海地震と小田原地震

東海地震の危険性が叫ばれてから、はやく十年の歳月が過ぎようとしています。みなさんのの中には、すでに「東海地震は来ないだろう」と考えている方もおられるようです。しかしながら、地震学者の話では、「十年間東海地震が起こらないことは、もう来ない」ということはなく、十年近づいた。むしろ十年間蓄積されたエネルギーにより、より大きな地震が来るというように考えなければならぬ」と言っています。

また、最近注目されている「神奈川県西部地震」があります。これは通称「小田原地震」と呼ばれるもので、小田原市付近を震源とした直下型の地震です。この地震は、過去七十年の周期で発生しており、前回は大正十一年の関東大地震と同時に発生したといわれています。そう考えると、関東大地震から六十年が経過していますので、そろそろ危険な時期に入ってきたといえるのではないのでしょうか。

そして、東海地震や神奈川県西部地震も、私たちの住む平塚市では、震度六の烈震になるだろうといわれています。もしも、この地震が発生した場合、電気、水道、ガ



警戒宣言発令されたら

- 内閣総理大臣は、東海地震が発生すると判断した場合、警戒宣言を発令します。警戒宣言が発令されたら、次のことに注意し、地震を迎えつようにならう。
- 正しい情報をつかもう
- 火はできるだけ使用しないう。使う場合はできるだけ水を用意しよう
- 危険物の安全確保をしよう
- 家財の転倒防止をしよう
- 脱出口を確保しよう
- 非常持ち出し品を確かめよう
- 動きやすい服装にしよう
- 近隣の協力体制をとうよう
- 火はできるだけ使用しないう。使う場合はできるだけ水を用意しよう
- ※なお、警戒宣言は、一部の地域を除いて、避難はしません。

大地震が発生したら

- 東海地震は、観測網が整備され、予知が可能といわれています。しかし、他の地震は、突然起こる可能性があり、そのときは、次のことに心掛け、落ち着いて行動してください。
- 火の始末は素早くしよう
- あわてて外に飛び出すのではなく、火の始末を済ませ、外に飛び出すようにしよう
- 火の始末は素早くしよう
- あわてて外に飛び出すのではなく、火の始末を済ませ、外に飛び出すようにしよう

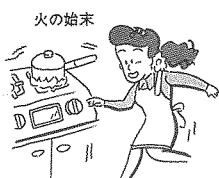
街頭消火器で初期消火を

地震が起きたとき、一番怖いのは火災です。特に、

ての火災現場にすぐ消防車が駆けつけることは不可能です。そこで、市内各所に約五千五百本の街頭消火器を設置しています。この消火器で初期消火をしよう。



防災三三訓練
9月1日の
11時58分



の備え プランから

8月30日～9月5日
建築物防災週間

ともに掲載した耐震診断はひとつの目安です。専門家にご相談ください。
問い合わせ：都市部建築指導課 ☎電話23-1141、内線609



わが家の健康診断 建物内外の総点検を

大地震が起こると何らかの形で被害を受けることになります。
特に、私たちの住む家が倒壊したり、火災にあった場合には、

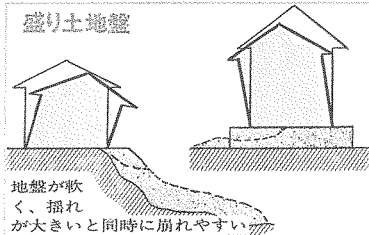


建物の上部は重くありませんか

水田や湿地などを埋め立てた地盤は、地震時に建物が揺れやすいだけでなく、地盤がゆるみ、建物の足元から壊れる恐れがあります。建て替えや増・改築をする場合は、地盤をよく調査して、基礎工法を選んでください。
また、普段から水はけの悪い敷地は、地盤がゆるんだり、湿気が建物に影響を及ぼすことがありますので、水はけの方法を十分に検討するなど、維持管理に努めてください。

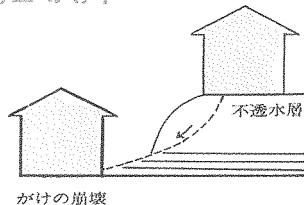
地震に不利な地盤

盛り土地盤



地盤が軟く、揺れが大きいと同時に崩れやすい

がけ上・がけ下



がけの崩壊

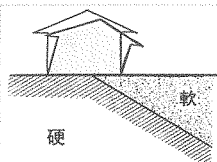
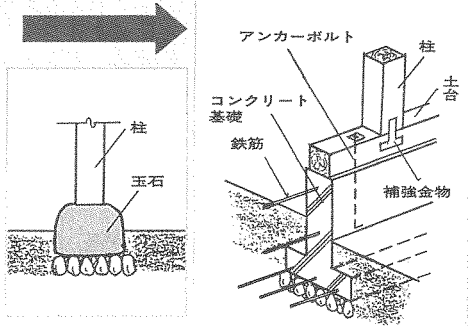
軟弱地盤の上に建っていませんか

基礎はコンクリート造りに

◆木造住宅の基礎は、コンクリート造りになっていますか。また、ひび割れはありませんか。

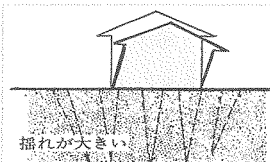
木造住宅の基礎は、文字どおり建物の足元にあたります。従って、しっかりとしたコンクリート造りの基礎にすることが必要です。さらに、基礎に鉄筋を入れると強度は増します。

特に、玉石に乗せただけの柱は、地震の揺れによりはずれ、建物が傾く場合があります。



硬

異なる地盤にまたがる揺れ方が複雑



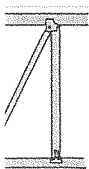
軟弱地盤

揺れが大きい

屋根をはじめとする建物の上の方が重ければ、その分地震による被害を受けやすくなります。落下物等による二次災害が発生します。太陽熱温水瓶、アンテナ、比較的重い屋根材などは、日ごろから

すでに住んでいる木造住宅の補強方法は、いろいろ考えられるため、専門家に現場を見てもらい、その家屋にあった

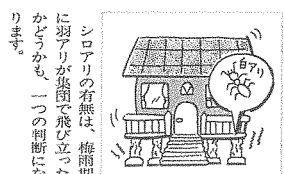
補強の仕方は



老朽度はどうですか

柱に傾きがあり、建具の建て付けが悪くなったり、屋根の根や軒先がうねりが見られる場合は、老朽化のききです。この時期に総点検をして、早めの補修が必要です。

シロアリによる被害や湿気などにより、知らない間に木材の腐れが進行することがあります。なかなか調べるのが難しいですが、この時期に一度点検してみてください。特に建物の北側やふら場の回りは念入りに調べてください。木材にドライバーなどで刺さるようでは、新しいものに取り替えるなどの措置が必要で

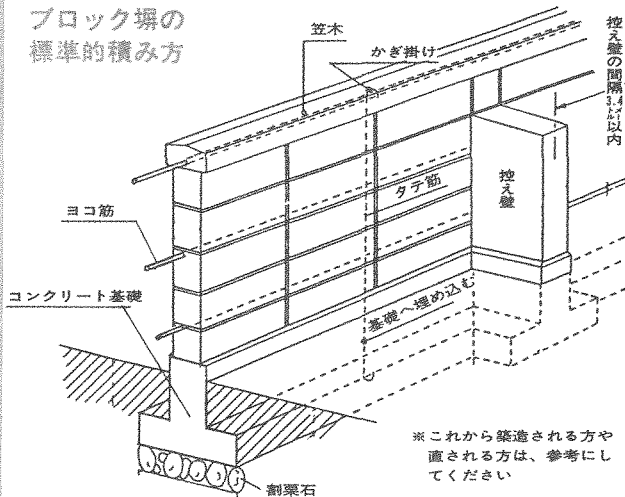


土台回りに腐れはありませんか

地震に 建築はまず防災の



ブロック塀の標準的積み方

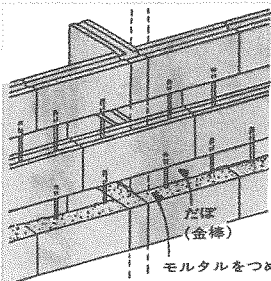


ブロック塀の対策

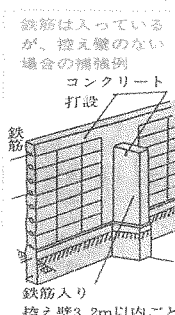
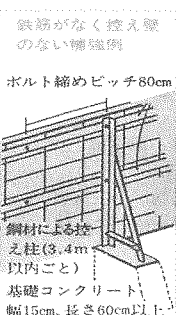
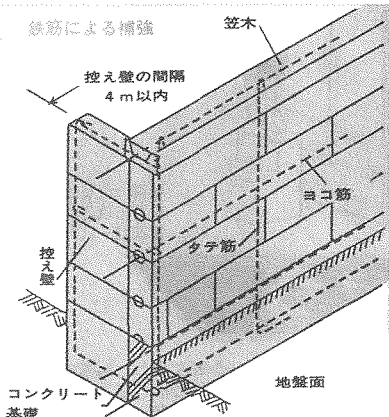
どこの家でも困ることでしょう。八月三十日から九月五日までは「建築物防災週間」です。この機会にもう一度自分たちの住んでいる家の内外を総点検しましょう。(写真は宮城県地震)

チェックポイント

- ①ブロック塀のチェックポイント④厚みはどのくらいありますか？ブロック塀の厚みは、土留以上、基礎がないブロック塀は、土留より厚いことが望ましいです。
- ②基礎はありますか？基礎がないブロック塀は、土留より厚いことが望ましいです。
- ③高さは適当ですか？高さは、地盤面から1.5m以下にすることが望ましいです。
- ④鉄筋が入っていますか？鉄筋が入っていないブロック塀は、非常に危険な状態にあります。
- ⑤壁の傾きがありますか？傾きが1/100を超えないことが望ましいです。
- ⑥開口部は、鉄筋が通る場合は、長さ3.0m以内、横に矯正に設置されて、初めから鉄筋を設計した状態で安全性が確保されるものでないことが望ましいです。
- ⑦開口部は、鉄筋が通る場合は、長さ3.0m以内、横に矯正に設置されて、初めから鉄筋を設計した状態で安全性が確保されるものでないことが望ましいです。



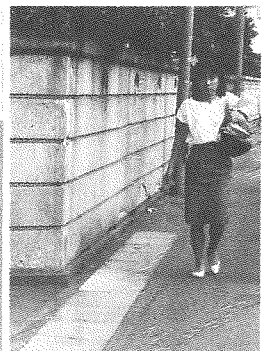
石塀の積み方
だばによる補強



※石塀の補強方法もブロック塀と同じような方法です

石塀の対策は

石塀の望ましい積み方の図面です。石塀とは、大石や小石を積み重ねた壁のことです。従来の、縦目部分にモルタルを塗り、石を定着させるだけのものが多かったのですが、大地震に耐えるための十分な強度をもたせるために、鉄筋やだば(金棒)などの金具で補強する必要があります。



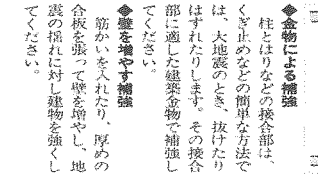
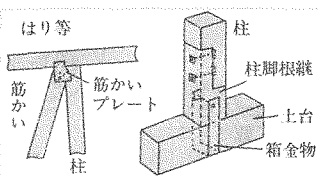
石塀のチェックポイントです

- ①基礎はありますか？基礎は、ブロック塀同様に必要不可欠なものです。石塀は、ブロック塀より重いので、より慎重な基礎の検討が必要です。
- ②高さは適当ですか？高さは、地盤面から1.5m以下にすることが望ましいです。
- ③鉄筋が入っていますか？鉄筋が入っていない石塀は、非常に危険な状態にあります。
- ④開口部は、鉄筋が通る場合は、長さ3.0m以内、横に矯正に設置されて、初めから鉄筋を設計した状態で安全性が確保されるものでないことが望ましいです。

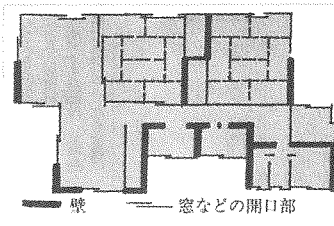
補強方法です

ブロック塀と石塀

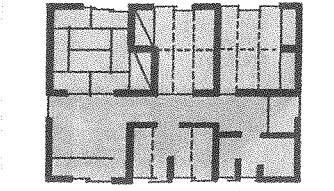
内二に控え壁を設けてください。



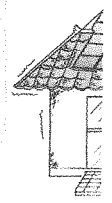
壁はバランスよく配置されていますか



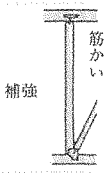
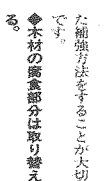
※壁の位置が片寄っている。四隅に壁がない



壁をバランスよく配置した例



らの点検が必要です。



家族そろって防災会議

わが家にはどんな危険があるか
(倒れるもの、落ちてくるもの)

わが家のまわりには
どんな危険があるか
(津波、山崩れなど)

付近の安全な
場所はどこか

避難する場所は
どこか

家族の落ち合う
場所はどこか

自主防災会での役割はなにか
(消火班、救出救護班など)

火の始末はだれがするか
(ガスの元栓も忘れず！)

火を使う器具や消火器
の点検はだれがするか

非常持ち出し品の
点検はだれがするか

非常持ち出し袋はどこに
おくか
だれが持っていくのか

お年寄りや子供は
だれが守るか



家族で話し合ったことを
内に書き入れましょう

地域拠点基地一覧表

大洋中学校	高浜台 7-1
港小学校	夕陽ヶ丘 22-1
花水小学校	龍城ヶ丘 5-62
なでしこ小学校	花水台 42-1
富士見小学校	中里 10-1
松原小学校	浅間町 4-3
八幡小学校	天沼 7-10
大野小学校	東八幡 3-8-1
真土小学校	真土 369
真土小学校	真土 975-1
大野中学校	東中原 1-12-1
中原小学校	御殿 2-8-9
南原小学校	南原 1-11-31
神田小学校	田村 1507
城島小学校	小鍋島 608-3
豊田小学校	豊田宮下 552
岡崎小学校	岡崎 3430
金田小学校	入野 514
旭小学校	河内 307
金目小学校	南金目 907
土屋小学校	土屋 3004-2
横内小学校	横内 2687
山下小学校	山下 801-3
みずほ小学校	北金目 545
吉沢小学校	上吉沢 392

情報の収集と伝達

地域拠点基地の確認を

平塚市は、災害時に二十五の小・中学校に地域拠点基地を開設します。
地域拠点基地では、市職員が十名から十四名配置され、情報の収集や伝達などを行います。
【拠点基地の主な仕事】
・自主防災組織との連絡調整
・防災食糧の貸し出し



丈夫な柱
直径50mm位の
鉄パイプ

臨時救護所の設置場所

古雲堂病院 (助産所併設)	袖ヶ浜 1-12
なでしこ小学校 (助産所併設)	花水台 42-1
松原小学校 (助産所併設)	天沼 7-10
済生会病院 (助産所併設)	立野町 37-1
平塚市民病院 (助産所併設)	南原 1-19-1
八幡小学校 (助産所併設)	東八幡 3-8-1
大野小学校 (助産所併設)	真土 369
神田小学校 (助産所併設)	田村 1507
平塚球場 (助産所併設)	太原 1-1
豊田小学校 (助産所併設)	豊田宮下 552
平塚共済病院	通分 9-11
旭小学校	河内 307
金目小学校	南金目 907

臨時救護所の場所

いざ大きな地震災害が発生したとき、市内の病院に勤務している医師は、臨時救護所に集合して、応急処置を行います。

あなたの役割は

自主防災組織の活動を

平塚市には、自治会単位で二百の組織の自主防災組織があり、その役割が明確に定められています。地震のときは、隣近所で助け合い、地盤の防災訓練に参加し、防災資機材の取り扱いを練習しておきましょう。

日ごろの備えと 落ち着いた行動を

●問い合わせ先
平塚市消防本部防災課
電話23-1111 内線357

これだけは備えておこう

大地震に襲われて壊滅状態になったら、救護が始まるまでの間は自力でしのがなければなりません。2～3日しのげる最小限の物は用意しておきましょう。

【水】

できるだけたくさんのポリ容器に水を入れ中に空気が入らないようにする。冷蔵庫に置き、こまめに水は取り替える。赤ちゃんのいる家庭はミルクと授乳用具を忘れずに。

【道具】

トランジスタラジオ、懐中電灯、ローソク、マッチ、ナイフ、缶切り、栓ぬき、簡易コンロと燃料、食器セット等



いろいろ考えると、荷物はどんどん増えるばかり、家族構成をよく考えて、必要最小限にすることが大切です。

【救急用具】

包帯、ガーゼ、脱脂綿、カットバンド、消毒薬、整腸剤、目薬等

【貴重品】

現金、預金通帳、印鑑等

【簡易食料品】

米、乾パン、缶詰、インスタントラーメン、チョコレート、塩、うめぼし等

【衣類】

下着、靴下、シャツ、軍手、雨具等